

建設経済委員会

令和5年度袋井市一般会計補正予算(第2号) ～商業振興費～

Q 中心市街地等空き店舗対策補助金のうち、令和4年度に新規出店し、本年度予算で継続分として交付する8件の業種的な傾向はどうか。また、今後の申請で見込んでいる業種はどうか。

A 最も多い業種は飲食業である。その他は、生活関連のサービス業などである。今後についても、同様の業種からの申請を見込んでいる。

令和5年度袋井市一般会計補正予算(第2号) ～道路橋梁管理費～

Q 本市は全体的に地盤が軟弱であるため、主要幹線以外の道路においても、大型トレーラーなどの大型車両が通行すると住宅への振動などの影響が及んでいる。このことから、道路舗装の補修だけでは抜本的な解決策にはならないと思うがどうか。

A 道路舗装の補修については、現在の交通状況に応じて、路床の入替や安定処理などにより道路の耐久性の向上に向けての取組を行っている。今後においても、市民の生活環境の向上や将来的なメンテナンスコストの低減に向けて、国の様々な財政支援を活用し、計画的に道路の補修に努めてまいりたい。

令和5年度袋井市一般会計補正予算(第3号) ～環境衛生費～

Q 省エネ家電買替え促進事業の補助金は、申請者の家電製品の購入先は市内に限られるのか。また、購入先の内訳はどうか。

A 市内業者からの購入を対象にしている。6月21日までの受付分の購入先は、電気冷蔵・冷凍庫は80.6%、エアコンは77.1%が市内に2店舗ある大型家電量販店である。LED照明は、工事を伴うことを条件としていることもあり、大型家電量販店への発注は32.4%、残りが市内の電気店や工務店である。

請 願

●加齢性難聴者の補聴器購入に市独自の助成制度創設を求める請願書

趣 旨

加齢性難聴は、日常生活を不便にし、コミュニケーションを困難にするなど生活の質を落とす大きな原因となっている。聞こえの向上・改善に有効な補聴器購入の経済的負担を軽減するため、市独自の補聴器購入助成制度の創設を求めるものである。

民生文教委員会の審査における委員からの意見

- ・長寿しあわせ計画が令和5年度で終了するにあたり、次期計画の中に、いま一度、認知症の対策などいろいろと含めた中に加齢性難聴に対しても入れ込んでもらうということで、現時点においては、市単独事業として直ちに助成制度の創設というのは、時期尚早ではないかと感じている。
- ・ゆっくり制度設計をしていくべきではないかというような意見もあったが、他市においても請願を採択された後にしっかりと制度設計に持っていつている事例がある。本市においても請願を採択し、きちんとした制度設計ができるように、背中を押していくべきと考える。
- ・公金を投入するという意味では、不公平があったらいけないし、僅かな方よりもやはり多くの方に制度を利用いただくべきものである。市レベルではなく、袋井市議会が2月市議会定例会で意見書を出したように、国レベルにおいて、本当に多くの方に利用いただけるようこれを予算措置いただくというのが1番であると思う。そのため、袋井市独自として実施するのは時期尚早という部分もあると思う。
- ・袋井市議会として国への意見書を提出しており、国の動向等もあるため、そのあたりを静観しつつ、我が市として、少し現状調査を行いながら制度を検討していったらどうかというふうに考えている。

結 果

不採択 詳細は9頁(議案に対する議員の賛否)参照